

名古屋音楽大学大学院客員教授

クラウス・シルデ先生による公開講座

(通訳: 川上 ミネ)

- 日 時 **第一回** 平成 18 年 5 月 29 日 (月)
午後 1 時～午後 4 時 10 分
第二回 平成 18 年 5 月 30 日 (火)
午前 9 時 30 分～午後 12 時 30 分
- 会 場 成徳館 12 階ホール
- 対 象 器楽学科ピアノ専攻 (1～4 年次)
大学院器楽専攻ピアノ (1～2 年次)
※ 器楽学科ピアノ専攻 (1～4 年次) については公欠になります。
29 日 (月) は 3, 4 限
30 日 (火) は 1, 2 限が公欠になります。
- 講座内容 「Bach Today ～現代ピアノでバッハを弾く上で、歴代の奏法から学ぶこと」

Klaus Schilde プロフィール

1926 年ドレスデンに生まれる。音楽とピアノ教育をワルター・エンゲル、ヒューゴー・シュトイラー、ワルター・ギーゼギング、エドウィン・フィッシャー、マルグリッド・ロン、ナディア・ブーランジェ等の名ピアニストに学ぶ。ドレスデン音楽大学を経て、ライプツィヒ音楽大学に学ぶ。在学中の 1947 年に国際 F. リスト賞、1948 年にドレスデン C. M. ヴウェーバー賞を受賞。1957 年ロン＝ティボー国際コンクールパリ賞を受賞。1947 年よりソリストとしてコンサート活動を開始。ベルリン・フィルをはじめとするヨーロッパの著名オーケストラと協演、以降、南アメリカ、メキシコ、アメリカ合衆国、スカンジナビア諸国、韓国、日本で定期的に演奏旅行を行う。ソロはもとより、弦楽器との室内楽活動も活発に行っている。デトモルト音楽大学教授、西ベルリン芸術大学教授を経て、1988 年から 1991 年までミュンヘン音楽大学学長を務める。また、ロン＝ティボー、ミュンヘン等国際コンクールの審査員を務める。1994～1999 年まで東京芸術大学音楽大学音楽学部客員教授、同時に国立音楽大学、エリザベート音楽大学の講師として赴任。2001 年からワイマール音楽大学の客員教授として着任している。また、各地でのリサイタルでは、その練り上げられた楽想の展開が聴衆の心に確かな感動を呼び起こし、各方面から絶賛されている。

- ※ 受講に必要なテキストと譜例を用意致しますので、会場入り口にてお受け取りください。
※ 対象以外の学生でも聴講可能です。